

<p><b>科目名：成人臨床看護Ⅱ</b></p> <p>( Adult Clinical Nursing Ⅱ )</p> <p>履修年次/時期：2年次 前期                      授業形態： 講義・演習</p> <p>担当教員：吉越洋枝（実務経験あり）      渡邊好江（実務経験あり）</p> <p>                    藤倉由美恵（実務経験あり）      五百部恵子（実務経験あり）</p>	<p>必</p>	<p>1 単位 (45 時間)</p>																
<p>学修目的</p>	<p>急性期にある患者と家族の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、特に周術期にある患者の回復過程におけるアセスメントと看護援助について、事例を用いて理解を深める。</p> <p>CP1, 2, 3, 4, 5 に関連する。 科目 No. KNz-209</p>																	
<p>この科目が目的としている DP</p>	<p>1. 医療専門職としての倫理観を有する。</p> <p>2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。</p> <p>3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。</td> <td style="text-align: center;">◎</td> </tr> <tr> <td>(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○	(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○	(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎	(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	○	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○	(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○	(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○																	
(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○																	
(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○																	
(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎																	
(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	○																	
(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○																	
(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○																	
(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○																	
<p>◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP</p> <p>○： この講義・演習・実習と関連がある DP</p>																		
<p>到達目標</p>	<p>① 周術期にある患者とその家族の特徴について説明できる。</p> <p>② 手術侵襲による生体反応について説明できる。</p> <p>③ 回復過程に応じたアセスメントと看護援助について説明できる。</p>																	
<p>授業概要</p>	<p>健康状態の急激な変化により健康障害をきたした成人期の対象とその看護について学ぶ。特に周術期（消化器、運動器、感覚器、泌尿器、女性生殖器）に焦点化し臨床判断能力を意識した思考過程を学ぶ。</p>																	
<p>評価方法</p>	<p>確認テスト 40%</p> <p>課題提出 60%</p> <p>試験に対するフィードバックは課題返却時に行う。</p>																	
<p>予習・復習時間</p>	<p>【予習】0.5h</p> <p>【復習】0.5h</p>																	
<p>教科書</p>	<p>①系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論（医学書院）</p> <p>②系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [2] 呼吸器（医学書院）</p> <p>③系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [5] 消化器（医学書院）</p>																	
<p>参考書</p>	<p>授業内で紹介する。</p>																	
<p>お問い合わせ連絡先</p>	<p>特定の日時を設定したオフィスアワーは設けません。実習で不在のことも多いので、必ずアポイントメントをとってください。直接研究室に来訪するかメールで連絡をお願いします。</p> <p>吉越洋枝（3号館3階研究室） <a href="mailto:yoshikoshi@kdu.ac.jp">yoshikoshi@kdu.ac.jp</a></p>																	

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 ( / )	ガイダンス  急性期にある対象の理解 ①急性状態が生じる原因。 ②急性期にある成人期の患者と家族の特徴。  周術期にある対象の対象 ①周術期にある患者と家族の特徴。 ②周術期における看護師の役割。 ③周術期における安全管理。	[予習]教科書①の第6章A・B・C・Dを通読する。  [復習]授業内容の振り返りとノート整理  [キーワード]急性期、急性期看護、周手術期、周手術期看護、インフォームドコンセント、意思決定支援、患者確認、ガーゼ等の残留の防止	講義 ○吉越
2 ( / ) 3 ( / ) 4 ( / )	侵襲による生体反応の理解 ①手術による生体反応の特徴。 ②麻酔や術式、手術体位による影響と援助。 ③侵襲による体液の変化。 ④おこりやすい術後合併症と好発時期。 ⑤術後の創傷管理、ドレーン管理方法。	[予習]病態と治療論Ⅱで学習した手術侵襲と生体反応、麻酔法について、教科書①の第1章B①②③、第3章A・C、第9章B・Cを通読する。  [復習]授業内容の振り返りとノートの整理  [キーワード]侵襲、麻酔法、全身麻酔、ムーアの分類、サードスペース、術後疼痛、早期離床、創傷管理、開腹手術、腹腔鏡手術、神経麻痺、褥瘡、術後合併症、ドレーン	講義 ○吉越
5 ( / ) 6 ( / )	手術療法を受ける患者の看護(1) 胃がん事例 ①胃がんの病態生理、治療。 ②回復過程におこりうる合併症の予測。 ③術後に必要な観察。 ④回復促進に向けた援助を考える。	[予習]病態と治療論Ⅴで学習した消化器疾患の外科的治療について、教科書③の第2章B、第4章B-⑤-①、⑦-②、第5章B-④を通読する。  [復習]授業前：授業内容の振り返りとノートの整理  [キーワード]内視鏡的切除(EMR、ESD)、胃全摘術、幽門側胃切除術、再建、術後呼吸器合併症、縫合不全、貧血、ダンピング症候群、食事管理	講義 ○吉越
7 ( / ) 8 ( / )	手術療法を受ける患者の看護(1) 演習 ①術後1日目の観察と援助の実施。	[予習]提示した課題に取り組む。  [復習]演習後の課題に取り組む。  [キーワード]状態のアセスメント、推論・判断、看護実践能力	演習 ○吉越 森脇 五百部 久世
9 ( / ) 10 ( / )	手術療法を受ける患者の看護(2) 肺がん事例 ①肺がんの病態生理、治療の理解。	[予習]病態と治療論Ⅲで学習した肺がんについて、教科書②の第2章、第4	講義 ○渡邊

	<p>②回復過程におこりうる合併症の予測。</p> <p>③術後に必要な観察。</p> <p>④胸腔ドレーンのしくみと管理。</p> <p>⑤回復促進に向けた援助を考える。</p> <p>1～9回までの確認テスト（25点）</p>	<p>章B-⑧、第5章G-②a、第6章A-②、D-⑤を通読する。</p> <p>[復習]授業内容の振り返りとノートの整理</p> <p>[キーワード]肺活量、1秒率、肺葉切除術、呼吸訓練、深部静脈血栓症、胸腔ドレナージ、呼吸リハビリテーション、呼吸器感染予防</p>	
<p>11（ / ）</p> <p>12（ / ）</p>	<p>手術療法を受ける患者の看護（3）大腸がん事例</p> <p>①大腸がんの病態生理、治療の理解。</p> <p>②回復過程におこりうる合併症の予測。</p> <p>③術後に必要な観察。</p>	<p>[予習]病態と治療論Ⅱで学習した消化器疾患とストーマケアについて、教科書③の第2章C・D、第5章C-⑩、第6章E-③-⑧を通読する。</p> <p>[復習] 授業内容の振り返りとノートの整理。</p> <p>[キーワード]腹会陰式直腸切除術、人工肛門、ストーマサイトマーキング、腹腔ドレーン。吻合部縫合不全、術後イレウス、ボディイメージの変容、排尿障害、性機能障害</p>	<p>講義</p> <p>○吉越</p>
<p>13（ / ）</p>	<p>手術療法を受ける患者の看護（3）大腸がん事例</p> <p>①ストーマを造設した患者の心理状態と心理的支援。</p> <p>②ストーマ造設術後のストーマの観察と観察方法。</p> <p>③ストーマケアの習得に向けた指導。</p> <p>④ストーマ造設術を受けた患者の生活支援や社会資源の活用。</p>	<p>[予習]教科書③の特論を通読する。</p> <p>[復習]授業内容の振り返りとノートの整理</p> <p>[キーワード]ストーマ装具、ストーマケア、ストーマ関連合併症、スキンケア、ストーマケアのセルフケア指導、オストメイト、社会保障税度、身体障害者福祉法、ストーマ外来、晚期合併症</p>	<p>講義</p> <p>○外部講師</p>
<p>14（ / ）</p>	<p>手術療法を受ける患者の看護（3）演習</p> <p>①ストーマケアのセルフケアに向けた指導の実施。</p>	<p>[予習]提示した課題に取り組む。</p> <p>[復習]演習後の課題に取り組む。</p> <p>[キーワード]指導技術、看護実践能力</p>	<p>演習</p> <p>○吉越 渡邊 藤倉 五百部</p>
<p>15（ / ）</p>	<p>周術期看護のまとめ</p> <p>11～14回目までの知識確認テスト（15点）</p>	<p>[復習] 授業内容の振り返りとノートの整理</p>	<p>講義</p> <p>○吉越</p>